

CAM通信

2号

2025
October



Pickup! 8/4に家庭部門の脱炭素化支援を考える 特別フォーラムを開催しました!

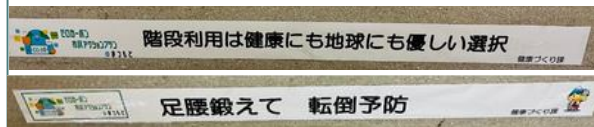
最近、電気代の請求書を見てため息をついていませんか? エネルギー価格の高騰で、暖房を我慢したり、電気をこまめに消したりと、多くの家庭が節約に励んでいます。でも中には、もう支払いが厳しくて困り果てている人もいます。そんな「エネルギー貧困」と呼ばれる問題に、オランダは面白いやり方で取り組んでいます。ヨーロッパのエネルギー問題を研究している寺林暁良さん(北星学園大学准教授)によると、オランダには「ワットヌ」という市民のエネルギー協同組合があり、市役所から正式に依頼を受けて、電気代に困っている家庭を一軒一軒訪問し相談に乗っているのです。

戸別訪問では今すぐできることから、「断熱工事をするならこんな補助金がありますよ」という長期的な相談まで。その家庭に合わせたオーダーメイドのアドバイスをしてくれます。細かな支援を研修を受けた市民が担うこの仕組みは、電気代問題を解決する新しい方法として注目されています。



ゼロカーボンアクションプラン 松本市役所の取組

〇階段でゼロカーボンの呼びかけ



健康増進と脱炭素の紐づけ例として、市内・駅の階段にポスターを貼って周知を行っています! みなさんも階段を使ってカロリー消費&省エネ対策を実行してみてください^^

〇アクションプランの配布

「住まいのゼロカーボン推進補助金」の交付決定通知書にアクションプランの同封を始めました!



また、補助金の申請をすることで、アクション No.⑨-1,⑨-2,⑩-2,⑩-3のいずれかを達成したことになります!

Pickup!

GIA学生が松本市にフィールドワークに来ました!

G I A(Green Innovator Academy)という産学官連携のプログラムという枠組みを使って、市民運動化を目指す「市民アクションプラン」を若者層に効果的に浸透させるための周知戦略を探るため、フィールドワークの受け入れを行いました。

ゼロカーボンに関係する施設の見学

ZEB施設や発電施設の見学のため、市内の事業所を回りました。地域企業が導入している最新の省エネルギー・再生可能エネルギー技術の活用事例を直接確認することができ、非常に実りの多い見学となりました。特に、再生可能エネルギーの普及が日本ほど進んでいない国から参加した学生たちは、「これほど先進的な環境技術が実際に稼働している姿を目の当たりにできて、大変刺激を受けました」と感想を述べており、海外の学生たちにとっても、日本の環境技術の現状を深く理解する貴重な機会となりました。

CAM参加者の若者世代にも参加いただきました!

松本市の若者とのグループワークの開催

松本市の若者たちとの対話を通じて、海外の学生が本市の抱える本質的な課題を深く理解してくれたことが非常に印象的でした。「観光地として全国的に知られているが、実際には若者の市外流出が深刻な問題となっている」「市民の環境意識は高いものの、具体的な行動につなげるきっかけが不足している」など、表面的には見えにくい問題まで汲み取り、それらの解決に向けた具体策を真剣に検討してくれました。この成果を踏まえ、11月末には学生たちから市に対して政策提言をしていただく予定となっており、今後の展開が大いに期待されます。



アンケートにご協力ください!

アンケート回答フォーム

ゼロカーボン市民アクションプランを参考に「実際に取り組んでみました!」「新しい習慣を始めました!」など、皆様の環境への取り組み事例をぜひお聞かせください。日常の小さな工夫から大きなチャレンジまで、どんな実践例でも大歓迎です。次号のCAM通信にて、皆様の素敵な取り組みをご紹介します。

